

## 2021 年度 事業報告書

### 概 況

2021 年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ワクチン接種の普及拡大や緊急事態宣言の解除などにより、経済活動の正常化が期待されたものの、新たな変異株の感染が拡大し、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、米中対立やウクライナ情勢の緊迫などの地政学的リスクは、原油や原材料価格の上昇、物流費の高騰、サプライチェーンの分断を招き、注視が必要な状況が継続しています。

一方、病院を受診する患者数や健康診断の受診者数は引き続き減少傾向がみられ、過度な受診控えは健康上のリスクを高める可能性が危惧されています。

このような状況のもと、当協会では、受診者様および職員の安全確保を最優先に取り組み、健康診断事業の安定的な継続に努めてまいりました。

集団健診事業では、新規取引先や個人オプション検査の増加等により、ほぼ前期並みの売上を確保する一方、3つの診療所事業においては、三密を避ける工夫をしながら、受診効率を上げることにより、前期比増収となり、その結果、今年度の売上は略 32 億円で前期比増収となりました。また利益面では、売上増加を主因として、営業利益、経常利益とも前期比増益となりました。

財政状態につきましては、利益剰余金の上積みにより、引き続き高い健全性を維持しております。

当協会は内閣府より認可を受け、2012 年 4 月 1 日に「一般財団法人京浜保健衛生協会」となり、丸 10 年が経過しました。新たな公益法人の役割の中で「公益目的支出計画」の達成と、行政をはじめ、関係諸団体と連携を密にし、当協会の定款に定める健康診断並びに調査研究指導・啓発広報等を通じ、国民の生活習慣向上のために健康診断事業を適切に推進していきます。引き続き関係各位のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

## I. 集団健康診断事業・診療所事業

### 1. 集団健診事業

#### 1) 受診者数・売上状況

- ・ 2021 年度の受診者数は、前年度より大幅に回復し、約 42 万人の方に受診いただきました。
- ・ 売上は約 21 億円で、前年度に続き 20 億円を上回りました。

#### 2) 主な動向

- ・ 2021 年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、受診者数は前年度より回復し、2019 年度と同程度の水準となりました。新型コロナワクチン接種の普及拡大や感染防止対策の整備により、学生健康診断や定期健康診断等の企業活動が平常に戻ってきたことで受診者数が増加しました。
- ・ 2021 年 4 月にサービス開始した健康診断結果管理システム (Keihin.web) は、他機関受診分を取り込んだ一元管理の利便性をアピールし、既存の事業所への導入に繋がりました。更なるシステム機能強化で、地方拠点を含めた一元管理による新規アプローチを進めていきます。

### 2. 診療所事業

#### 1) 受診者数・売上状況

- ・ 2021 年度の本部診療所は、約 2 万 6 千人の方に受診いただき、前年度比で約千人の増加となりました。売上も前年度より大幅に増え、4 年連続 4 億円を上回り、過去最高を更新しました。
- ・ 特定企業の方を健診対象とする 2 つの診療所（健診センター、渋谷診療所）では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、前年度より受診者数が増加しました。

#### 2) 主な動向

- ・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に努めています。健診受付時間を午前 2 部・午後 2 部の 4 部制にし、受診時間を細分化することで三密防止を図るほか、年齢の高い方を比較的受診者数が少ない午後の時間帯にご案内するなどの対策も行ないました。

## Ⅱ.調査研究事業

### 1.調査事業

- ・がん検診から早期発見、早期治療につなげ、ひいてはがんの死亡率減少に寄与することを目的に、がん検診の追跡調査を実施しています。
- ・2020 年度、がん検診（胃・胸・大腸・子宮・乳房）の受診者は、約 31 万人（男 67%、女 33%）でした。
- ・要精密検査となった方のうち、約 5 百人に追跡調査を実施しました。

### 2.健康支援事業

- ・健康相談事業は、健康診断に付随して、電話による相談も含め、それぞれ必要に応じた場面で行っています。
- ・2021 年度の面接による健康相談件数は、前年度に引き続きコロナ禍の影響で少なくなっており、前年度と同じ約 7 百人となりました。

### 3.特定保健指導

- ・生活習慣改善で大事なことは「自己効力感」と言われています。当協会のプログラムは、対象者の方々の個別性を踏まえ、自己効力感を高め、メタボ脱却に向け 3 か月間の支援を行なっています。
- ・7 健保に対して、積極的支援、動機付け支援相当、動機付け支援計 1 百人強の方に特定保健指導を実施しました。

## Ⅲ.公益事業

当協会の公益事業は（１）幼稚園事業、（２）JMS 事業、（３）講演会事業、（４）広報事業、４つの事業を柱としています。

#### 1.幼稚園事業

- ・子育てで忙しく日頃健診を受ける機会が少ない幼稚園児の母親および教職員を対象に、毎年幼稚園に直接伺い、血液検査と骨量測定を行っています。2021 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、検体回収による尿検査・便潜血検査を実施しました。
- ・診療所での婦人科検診は、4・5 月の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりやむなく中止としました。

#### 2. J M S 事業

- ・日本乳がんピンクリボン運動が 2009 年から「10 月第 3 日曜日」を「ジャパン・マンモ・サンデー」として全国の医療機関に賛同を呼びかけ、当協会も趣旨に賛同し実施しています。
- ・2021 年度は、10 月 17 日に開催し、前年度とほぼ同規模の 1 百人弱の女性の方が受診しました。

#### 3.講演会事業

- ・定例健康管理後援会は、学識著名人に講演を依頼し、毎年全国の健康管理者を対象に広く門戸を開放していますが、2021 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度に続き開催を中止としました。

#### 4.広報事業

- ・広報誌「ほほえみらいふ」を次の通り発行しました。

2021 年 7 月 20 日 78 号 2,000 部。

2022 年 1 月 5 日 79 号 2,000 部。

発送先：官公庁、事業所、地区組織、全衛連加盟機関等。

以 上